



子育て  
応援しています

# はまなす の実

— 第 9 号 —

平成12年9月1日発行

鶴岡学園短期大学同窓会  
札幌市南区藤野400番地

北海道文教短期大学内

TEL・FAX(011)592-7636



## 同窓生の職場風景

北海道文教短期大学附属幼稚園

☎(011)591-7512番

## 『希望と祈り』



鶴岡学園短期大学同窓会

会長 北崎 迪子

〈食物栄養学科3期〉

千年に一度のミレニアムという記念すべき年を賑やかに迎え、花の頃、祭りの時と過ぎ行き盛夏を迎えておりますが、全国各地にお出での会員の皆様にはご健勝にてご活躍のことと拝察致します。しかし、長年続いた平成不況にもやっと明るい兆しが見え始めたというところで、今年こそは穏やかな一年になるようにとの祈りも空しく、有珠山の噴火、三宅島の海底噴火という大きな災害が起こってしまい、不安な生活を余儀無くされている方々の中にも会員の方がいらつしやるのではないかと案じております。

心よりお見舞いを申し上げます。

さて、昨年の同窓会総会にご出席の会員の皆様は既にご承知のことですが、短大「食物栄養学科」を平成十五年の開設を目的に四年制の管理栄養士課程に昇格させる準備をしていきたい、という浅川修二学長のお言葉をお伝え致しました。又、その実現に向かっては同窓会としても出来る限りの協力をしていくということで、基金の造成についてのお願いを致し、ご承認を頂きま

した。それを受けて「四年制昇格のための特別委員会」は今後の活動について慎重に検討を重ねて参りましたが、その結果を今回回報と共にお届け出来ることになりました。皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

少子化が進み年々十八才人口が減少していることへの危機感があります。募りませんが、今こそ、以前「真に、社会が求めている学校が永遠に存続する価値があり、その真価が問われているのである」とおっしゃった浅川学長のお言葉を改めて思い起こしております。厳しい状況の中にありながら、新しい世紀を前に時代のニーズにこたえるべく大学を開学させた学園の姿に、未来に向けての並々ならぬエネルギーを感じております。来るべき二十一世紀にも途絶えることなく脈々とその歴史を刻み、社会の必要とする人材の育成によって益々発展し続ける学園でありますようにと願っております。その為にも一人一人の会員を有する大きな同窓会の力を持って、母校発展の担い手の一助となれば幸いと思っておりますので皆様の絶大なご協力とご支援をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健康と、ご活躍をお祈り致します。





学生時代からコーラスに燃えた延長で、マさんコーラス大会、合唱祭、女性コーラス大会等に参加して楽しく歌っていました。ある時市の文化祭で歌った後に、プログラムに“大

### 大正琴教室・13年間の想い



小原 宏子  
(栄養学科17期)

正琴演奏”とあるのを目にしました。以前から自分一人でも楽しめる楽器を、歌いながら弾けたらいいなあと思っていたのです。コーラス仲間は大正琴を、高齢者の方達が弾く興味をそそらないものとみて、帰ってしまいました。さて私は大正琴を聴い

てびっくり。曲目は「月の砂漠」「船頭小唄」でしたが、何と皆さんピカピカ輝いた顔をして心なごむ美しい音色で上手に弾かれたのです。私は心から感動しました。翌日楽器店で大正琴を買い、電話帳で教室を探して通い始めたのです。夢中の数年が経ち、先生から指導者として教えてはと奨められ教室を始めました。

今年も五月の末に第十回目の大正琴発表会を共済ホールで開催しました。私が教室を始めた時の第一号生徒さん当時七十歳が今年八十三歳となり、先の大正琴発表会の舞台上で堂々と心なごむ音色で弾かれ、私は心打たれました。何事においても出逢いと行動する勇気が大切だと思います。興味をそえられる事に出逢った時がその方の始める時期かも知れません。そして粘りづよく継続していたら、いつかそれが喜びとなり生き甲斐となつて、人生が素晴らしいと感じられるかも知れません。

最後に、大正琴は洋の東西を問わずどんな曲でも弾ける心なごむ楽器です。

### お元気ですか？

#### 社会人一年目ががんばっています

佐 東 可 織

▲幼児教育学科31期▽

今私は、北見の保育園で四才児を担当しています。最初の2ヶ月間は年長のクラスにいたのですが6月になり突然四才児のクラスに双子の兄弟が入る事となり、今まで四才児のクラスが一人の先生で行っていたので、それでは大変だという事で私が入る事になりました。年長での間は子どもが言う事を聞いてくれず悩んでばかりでしたが、2ヶ月経つと少しずつではありましたが言う事を聞いてくれる様になりました。

その様な時にクラスが変わり、また一からのやり直しが始まり、辛いなと毎日思っていました。そのせいか6月の間は毎日保育園へ行きたくないと思いつつ通っていました。

しかし7月に入るとつれて、子どももなつてくれる様になり、自分が嫌がって保育園に行っている事は一番子どもに対して失礼な事をしているのだと気づきました。そして最近では、子どもがかわいく、楽しんで保育園に通っています。一年目と言う事でやはり失敗は多々ありますが、先輩の先生方の

子どもに対する接し方を見習いながらがんばっていきたいと思います。

#### 新社会人、頑張っています

助 乗 有 香

▲別科 27 期▽



私は食物栄養学科・別科を経て、この春、新社会人になりました。今の職場(病院)は、学生の頃からアルバイトとして働

いて、四月から栄養士業務も兼ねるようになり、仕事も増え、バイトと正社員のギャップで思うように前に進めず涙を流すこともありました。しかしいつかこの職場の一戦力になることを目標に、今を頑張っています。

#### 同窓会のホームページについて

この会報が皆様のお手元に届くころには同窓会のホームページも開設されています。北海道文教短期大学ならびに図書館のホームページにリンクを貼っていただきますので大学からたどり着いてください。

<http://www.do-bunkyo-dai.ac.jp/>



# 道北支部報告

## 道北支部 合同懇親会報告

田中 律子

〈食物栄養学科12期〉



道北支部は宗谷・留萌・上川を合わせた広範囲地域の支部です。この合同懇親会も地方支部最後の開催となりました。平成十一年九月十四日(火)、旭川ターミナルホテルにおいて実施することができました。平日ということもあり、稚内の支部長も勤務のため出席することができなく大変残念でした。また、旭川在住の同窓生のみでの参加となりこれしかたがないことでしたが、各学科の同窓生の参加もあり、大学側の理事長・学長・各学科長・入試主幹・明清高校(附属)の校長と事務長・同窓会会長と副会長で総勢二十一名の懇親会になりました。

同窓会会長の北崎さんからの挨拶で始まり、学長・理事長の挨拶に続き各

学科長からも今の短大の様子などの話を傾けていました。人数が少ないこともあり同窓生一人一人の今の活躍ぶりも聞くことができ、学科や期が違っていても、懐かしい短大の校舎や先生方の思い出話に花が咲き、大変和やかに楽しくあつという間の時間が過ぎていきました。食物栄養学科の同窓生も多かったこともあり、昨年の支部懇親会にも話題となった四年制大学のことは同窓生にとってはやはり気になるところであり、学長のご挨拶の中にも「特色ある総合学園」ということで食物栄養学科の四年制大学ももちろん実現に向けて検討しているとのこと、一日も早い設置を希望している多くの同窓生の声も十分ご承知いただいているようでした。

今回は、同窓会副会長としての立場で参加させていただきましたが、参加していただいた同窓生はこの懇親会に出席してよかったと言ってくれ、参加できなかった同窓生からも今度あるときは是非参加してみたいとの声もあり、支部の細分化が必要であることを改めて感じました。今後、更に母校の発展と同窓生の親睦を図るため、年一度の

同窓会に是非参加して皆様方の意見もお聞きしたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。今回の道北支部に参加していただいた同窓生の皆さんありがとうございました。

## 懇親会に参加して

谷 克子

〈食物栄養学科4期〉



同窓の皆様こんにちは。平成十一年九月十四日に、道北支部懇親会が旭川市で開催されました。参加させて頂きました。

大学へは、ずっと御無沙汰しておりますのに、学長先生はじめ、多くの先生方も見えられて、最近の大学の様子などをお話して下さり、本当になつかしく嬉しいひと時でした。ありがとうございました。

今は、鶴岡学園理事長として頑張っていて下さる、佐々木シロミ先生もお元気そうで、私が学生の頃(三十年以上も前)とたいしてお変わりないようにお見受け致し、ずっとお元気でいて

頂きたいと思えました。

ただ、今回、道北地区の参加者が少ないのが残念でした。前回参加した時、といつても十数年前ですが、多くの方が参加され、賑やかな懇親会だったのですが、その時と比べて少し淋しい感じが致しました。母校では、毎年同窓会が開催されているようですが、私共、地方在住者はなかなか出席できませんので、又、こういう機会がありましたら参加させて頂きたいと思えます。皆様も是非、参加いたしましょう。

## 山形先生訃報



平成10年10月27日、食物栄養学科助教授山形紳先生が肺動脈血栓症のためご逝去なさいました。山形先生は主に食品学および食品学実験を担当なされた有能な教育・研究者であったばかりでなく、長年、学生委員として学生会指導における中心的役割を果たされるなど、学生の間でも優しさと緻密さでとても慕われた先生でした。特に平成10年度恵庭校舎大学祭では、食物栄養学科恵庭移転10周年を記念した独創的な企画を次々に提案なさるなど、鶴岡学園と学生たちを心から愛した素晴らしい先生でした。ここに謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 鶴岡学園短期大学同窓会支部長名簿

支 部 長	氏 名	自 宅 住 所 ( T E L )	勤 務 先 ( T E L )	期
石狩支部 石狩・空知	石澤恵美子	〒066-0038 千歳市信濃 3 丁目24番13号パールハイムD T E L 0123-23-3511	北海道文教短期大学 T E L 0123-34-0211	食22
道南支部 後志・檜山・渡島	小野 幸子	〒044-0014 虻田郡倶知安町南4条東 3 T E L 0136-22-0033	倶知安学校給食センター T E L 0136-22-0506	食 2
胆振支部 胆振・日高	菅原 美子	〒050-0054 室蘭市白鳥台 2 - 38 - 6 T E L 0143-59-3306		栄12
道北支部 宗谷・留萌・上川	伊藤 静子	〒097-0012 稚内市富岡 4 丁目15 - 2 T E L 0162-32-1056	稚内市立病院 T E L 0162-23-2771	食 3
道東支部 網走・十勝	後藤田倫子	〒090-0028 北見市北 7 条東 4 丁目 T E L 0157-24-3679	北見学園施設 T E L 0157-24-2701	食 3
根釧支部 釧路・根室	山田 敏子	〒085-0053 釧路市豊平町17-19 T E L 0154-24-7237	トップラーン道東研究所	食 3

### 平成12年度予算

自 平成11年10月 1 日  
至 平成12年 9 月末日

### 平成11年度決算

自 平成10年10月 1 日  
至 平成11年 9 月末日

#### 収入の部

(単位：円) 収入の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
前年度繰越金	4,321,933	
会 費	4,980,000	15,000円×332名
利息収入	1,500	普通預金利息
名簿代	12,000	3冊
計	9,315,433	

科 目	予 算	決 算	備 考
前年度繰越金	2,035,381	2,035,381	
会 費	7,500,000	7,455,000	10年度分 305名×15,000円=4,575,000円 11年分 192名×15,000円=2,880,000円
利息収入	1,500	1,661	
名簿代	12,000	8,000	2冊
計	9,548,881	9,500,042	

#### 支出の部

(単位：円) 支出の部

(単位：円)

科 目	金 額	備 考
総 会 費	500,000	会場費、ビンゴ景品代
卒業記念品費	447,000	447名×1,000円
印 刷 費	1,500,000	総会の案内・会報印刷等
通 信 費	2,000,000	総会案内・会報発送・支部通信費 切手代・他郵送代
事務消耗品費	150,000	事務用品
会 議 費	700,000	常任幹事会・支部長会・幹事会・会報 委員会・4大特別委員会等の会議費
交 通 費	600,000	常任幹事会・支部長会・幹事会・会報 委員会・4大特別委員会等の会議費
アルバイト費	800,000	名簿及び事務の整理 消息不明会員の追跡費用
名簿整理費	10,000	名簿等の整理
研 修 費	300,000	講演会・講習会開催の為
予 備 費	100,000	
基本金積立金	1,000,000	
次年度繰越金	1,208,433	
計	9,315,433	

科 目	予 算	決 算	備 考
平成10年度総会 及び懇親会 卒業記念品費	500,000	320,074	会場費、ビンゴ景品代
印 刷 代	800,000	464,940	480名×922円50銭 内消費税(22,140円)
通 信 費	1,500,000	1,173,070	総会の案内印刷 会報印刷・はがき印刷 総会案内・会報発送 電話代・切手代
事務消耗品費	2,500,000	1,346,216	事務用品
会 議 費	150,000	105,823	支部長会・常任幹事会・幹事会 会報委員会・4大特別委員会
交 通 費	800,000	406,691	支部長会・常任幹事会・幹事会 会報委員会・4大特別委員会
交 通 費	500,000	535,150	支部長会・常任幹事会・幹事会 会報委員会・4大特別委員会
アルバイト料	1,000,000	660,401	名簿及び事務の整理 消息不明会員の追跡費用
名簿整理費	0	0	
研 修 費	400,000	100,000	平成10年度総会講演料 香典・御花代(山形助教授・ 今井陽元学長)
予 備 費	200,000	65,744	
基本金積立	0	0	
次年度繰越金	1,198,881	4,321,933	
計	9,548,881	9,500,042	

**平成十二年度事業計画**

一、同窓会名簿の整理  
二、平成十一年度卒業生への  
記念品贈呈

三、研修会(講演会、講習会、見学会等)の開催  
四、会報の発行(第九号を発行予定)  
五、支部の充実  
六、食物栄養学科四年大昇格について  
七、ホームページ活用  
八、その他

一、署名活動をする  
二、資金作りについて  
一、資金管理について  
二、ホームページ開設

# 平成十二年度 同窓会総会のご案内

■日時 平成十二年十月十四日(土)

受付 十四時三十分

総会 十五時

講演会 十六時三十分

懇親会 十八時

懇親会 十八時

札幌プリンスホテル

(札幌市中央区南二条西十一丁目)

総会及び講演会 国際館パミール

懇親会 本館2Fさくらの間

## ◆役員◆

会長 北崎 迪子(食3)

副会長 後藤田倫子(食3) 田中 律子(食12)

常任幹事 橋本美佐子(栄1) 菅原 美子(栄12) 斎藤 道子(食1)

工藤 祐司(食26) 西野 英子(幼11) 石井 千章(幼14)

葛西めぐみ(生30) 遠藤まどか(生30) 鈴木 亜子(専9)

会 計 小向 朝子(幼12) 工藤 美香(食26)

会計監査 北川 幸子(栄4) 市村 英子(栄6)

同窓会事務局(札幌市南区藤野四〇〇番地・北海道文教短期大学内)  
直通専用番号(FAX番号が新設されました)

FAX(〇一一)五九二一七六三六番

学 科 等	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
推薦 幼児教育学科 食物栄養学科	平成12年 10月30日(月) ～11月10日(金)	11月16日 (木)	11月20日 (月)	12月4日 (月)
I 期 幼児教育学科 食物栄養学科	平成13年 1月11日(木) ～1月25日(木)	2月2日 (金)	2月6日 (火)	2月19日 (月)
II 期 幼児教育学科 食物栄養学科	平成13年 2月10日(土) ～2月26日(月)	3月3日 (土)	3月6日 (火)	3月16日 (金)

対 象 者	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
社 会 人	平成13年 1月11日(木) ～1月25日(木)	2月2日 (金)	2月6日 (火)	2月19日 (月)
婦 女 留 学 生 国 人 留 学 生 転 入 学 生	平成13年 2月10日(土) ～2月26日(月)	3月3日 (土)	3月6日 (火)	3月16日 (金)

別 科	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
第 1 回	平成12年 10月30日(月) ～11月10日(金)	11月16日 (木)	11月20日 (月)	12月4日 (月)
第 2 回	平成13年 1月11日(木) ～1月25日(木)	2月2日 (金)	2月6日 (火)	2月19日 (月)
第 3 回	平成13年 2月10日(土) ～2月26日(月)	3月3日 (土)	3月6日 (火)	3月16日 (金)

	出 願 期 間	試 験 日	合格発表日	入学手続締切日
専 攻 科 第 1 回	平成12年 10月30日(月) ～11月10日(金)	11月16日 (木)	11月20日 (月)	12月4日 (月)
第 2 回	平成13年 2月10日(土) ～2月26日(月)	3月3日 (土)	3月6日 (火)	3月16日 (金)

## 入試に関する問い合わせ

札幌キャンパス 電話・FAX (011) 592-7596  
恵庭キャンパス 電話 (0123) 34-0160 FAX (0123) 34-1640

## 【平成十三年度入試予定】

帰国子女、外国人留学生、転入学生を対象とした特別入試もあります。詳しくは短大入試事務局へ。

## 編集後記

今年の夏は真夏日も多く、「暑い夏」だったようです。牛乳などの食中毒事件、17歳の犯罪など心痛む事件が数多くありました。来年から始まる21世紀は、明るい年であってほしいですね。

今号より編集委員長と多数の編集委員が交替となりました。新しいメンバーの委員で、期日に追われながらも9号を発行することができました。今後、新しい紙面企画も考えて行きたいと思えます。御意見・感想などありましたら、同窓会事務局宛にお寄せ下さい。

## 編集委員

北崎 迪子・松木 寛美  
工藤 祐司・鈴木 亜子

発行所 鶴岡学園短期大学同窓会

編集委員長 松木 寛美

札幌市南区藤野四〇〇番地

電話(〇一一)五九二一七六三六番

(題字は浅見晴江さん(食4期)による)